

公表:2022年3月30日

事業所名:プティ倶楽部南与野

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1人あたり三平以上のスペースが確保できています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童の人数に対して適切な数の児童指導員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入り口やトイレには段差がありますが、必要に応じて職員が介入し安全に考慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎朝のミーティングで業務の改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			頂いた評価表などは朝のミーティングや会議等で共有し、業務改善に繋げています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			会社のホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、外部評価は行っておりませんが、今後必要性があれば検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月職員会議の際に研修を設け、職員の資質の向上を目指しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様との面談や、頂いた面談シートを基に職員間で話し合い、計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全児童、同じアセスメントシートを使用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議の場やミーティング時に、取り入れる活動やプログラムを共有しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			常に子どもたちが楽しめ、成長に繋がるプログラムを立案し、反映させています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日の活動時間に合わせた課題を設定し、支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団での活動をメインとしつつ、児童の特性に合わせた個別の活動を、取り入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングで1日の流れ、活動の目的、役割について職員間で確認しています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌朝のミーティングで振り返りを行い、気付いた点、詳細などを職員間で共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後に、支援内容、様子などを詳しく記録することによって、日々の支援の質向上に繋がっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援計画書の更新時にモニタリングを行い、職員間で見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインにある内容を組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	今年度はサービス担当者会議への参加がなかったため、今後参加する場合は、管理者や児童発達支援管理責任者が参画します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校からお便りを頂いたり、下校時間や行事予定などについて共有を行い、必要に応じて学校との連絡を取っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な児童はおりませんが、今後必要となれば、体制を整えて行きます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		以前利用していた幼稚園の先生がご来所して頂く機会がありました。今後、必要に応じて情報共有できる機会を増やしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、該当する児童がいないため、今後必要な情報を提供する予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現状、研修等と行っておりませんが、必要に応じて連携を図っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍のため、交流しての活動は行っていません。今後の状況を踏まえて、交流する機会を設けていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			区開催の会議へ参加し、会議の内容、情報は職員間で共有しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際やインターネットの連絡ツールにて、お子様の様子や状況の共有をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		送迎の際や面談時に相談、助言等させて頂いておりますが、さらにきめ細かなサポートが出来るよう、努めていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際に支援の内容や、利用者負担等について、丁寧に説明させて頂いています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育てに対するお悩み等があれば、柔軟に対応させて頂いています。今後も気軽に相談して頂けるような、事業所作りを目指していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍のため、今年度は開催をすることができませんでした。今後の状況を見ながら、開催できるよう努めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約の際に苦情担当窓口の説明をしています。苦情があった場合には迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月プティ便りを発行し、活動の概要や行事予定などの情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			研修を通じて個人情報の取り扱いについて学び、日頃から十分注意して取り扱っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉だけではなく、文字やジェスチャーなどのコミュニケーションを利用して、情報伝達に配慮しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在コロナ禍により、交流することが難しいため、今後必要に応じて機会を設けていきます。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			それぞれのマニュアルを策定し、職員が閲覧できるようにしています。保護者様へはプティ便りやインターネット上の活動記録にて周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回活動の中で避難訓練を取り入れています。地震に対してだけでなく、水害に対しての訓練も行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に虐待研修を行い、職員間で内容を共有し、虐待防止に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束について研修を通じ、職員間で理解を深めています。現在、身体拘束を行うことは想定していないため、計画書には記載していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在、石の指示書が必要な児童はいませんが、おやつ作りの活動では十分注意しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットノートを作成し、情報、今後の対策について職員間で共有できるようになっています。